



公益財団法人 日本スポーツ協会公認  
茨城県スポーツ指導者協議会

# 会 報

## 第 88 号

令和 6 年 3 月 15 日

発行人

茨城県スポーツ指導者協議会  
会 長 鈴木 孝 子  
事務局 〒 306-0204

古河市下大野 1463-4  
事務局長 鈴木 義 夫  
TEL・FAX 0280-92-4555  
会員数 1,959 名 (R6. 3. 15 現在)

### 会長あいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会  
会長  
鈴木 孝 子

このたび、能登半島地震で被災された方々には心中よりお見舞い申し上げます。どうか健康に留意され、一日も早く穏やかに過ごしていただけますようお願い申し上げます。

令和 5 年度の本会事業も予定通り無事終了いたしました。役員のみならず、ならびに各支部活動でご協力いただいた方々には、厚く御礼申し上げます。

本協議会への参加者は年々増え続けています。この要因の一つは、スポーツ少年団認定員・認定育成員資格保有者が公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO) の公認指導者に加わったことがあげられます。これまで生涯通じる資格でしたが、他の公認スポーツ指導者と同様に最低でも 4 年に一度は更新のための研修会を受講する必要があります。2019〜2023 年は JSPO 公認コーチングアシスタントへの移行期間でした。

スポーツ少年団の指導者資格保有が完全必須へ  
令和 6 (2024) 年 4 月からは、スタートコーチ (少年団) 資格がスタートコーチ (ジュニア・ユース)

に変更され、スポーツ少年団の「指導者」登録における JSPO 公認スポーツ指導者資格の保有が完全に必須となります。そのため、茨城県スポーツ少年団本部では、令和 5 年度に 14 回のスタートコーチ (少年団) 養成講習会を実施いたしました。その結果、新たに約 800 名が JSPO 公認スポーツ指導者になる見込みです。是非、本協議会の会員へお誘いください。

スポーツ庁では、教員の働き方改革の一環として特に休日の部活動の地域移行を推進しています。  
人材バンクへ登録を・・・

茨城県でも茨城県教育委員会が中心となって、「茨城県地域クラブ活動人材バンク」を立ち上げました。本協議会の指導者の方々におかれましては、是非とも人材バンクにご登録いただき、それぞれお住まいの市町村においてスポーツ少年団と共に地域クラブでのご活躍をお願いいたします。

令和 6 年度以降もさらに充実した活動を展開してまいります。会員のみならずには益々活躍いただき、本県のスポーツ活動がさらに豊かになりますようどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 日本スポーツ協会公認  
スポーツ指導者のために

資質向上と  
活動の推進を

連帯感を深め  
組織的活動を

## 目 次

会長あいさつ	1
中央地区研修会報告	2
県西地区研修会報告	3~4
鹿行地区研修会報告	5
令和 5 年度本協議会活動報告	6
専門委員会事業報告	6~7
支部だより	7~10
協議会事務局便り	10

# 令和5年度 茨城県スポーツ指導者研修会 中央地区研修会 令和5年9月3日(日) 於：那珂市総合センターらぼーる

## 《講演Ⅰ》 「地域スポーツチームが取り組む地域課題」

講師 アドバンフォースグループ代表取締役  
山根 将大



アドバンフォースグループは、事業を通じた地域課題解決を理念に掲げて活動をしており、スポーツ事業、福祉事業、農業事業を運営する法人が事業連携を行い、相乗効果を生み出すことで地域の課題解決を目指しております。

スポーツ事業では、茨城県内を拠点とする地域のプロ野球チームである「茨城アストロプラネッツ」を運営しております。

福祉事業では、障害者の就労支援施設を茨城県内に6事業所運営し、約170名の障害者を雇用し、自立に向けた支援を行っております。

農業事業では、11町歩の農地で栗を生産し、栗ペーストへの加工や、栗スイーツに特化したカフェの運営を行っております。これらの事業を連携させて、地域の課題解決に向けて活動しております。

例えば、農林水産省のデータで、茨城県は全国一の栗の出荷量を誇っております。しかし、栗は2012年から2021年

までの10年間に国内で生産された栗の出荷量が約25%も減少しております。減少した背景には、農家の高齢化が進み、生産農家の数が減少していることが大きな要因となっております。

一方で、近年ではモンブランチームによって、国産の栗の需要が高まっております。需要が高まっているのに対して、供給量が減少しているため、栗を特産品とする茨城県では、栗農家の減少が地域課題となっております。我々はこの地域課題を、事業を通じて解決するべく、栗の生産に関わる労働力として、障害者の力を借りております。障害者は、働いて賃金がもらえる仕事の、活躍できるフィールドが少ないことが課題となっております。そのため、栗の生産や加工に、障害者に活躍していただくことで、地域は、特産品の生産量が維持できてハッピーに、農家は、後継ぎが見つかってハッピーに、障害者は、仕事で活躍できるフィールドができてハッピーに。関わる皆がハッピーになれる。

「農業×福祉」の事業連携をしている農福連携を推進しております。

茨城アストロプラネッツにも、障害者が仕事で活躍できるフィールドがございます。チームのグッズは、社内外の障害者施設に製作を委託し、販売した売上金を全額障害者施設へ戻しております。これは、スポーツチームが地域の障害者の工賃向上に少しでも貢献したいという思いで取り組んでおります。興行試合の試合運営でも、運営補助として、かかわっていただいております。

今後も、地域スポーツチームが「スポーツ×福祉」で地域課題解決を目指して取り組んでまいります。ご紹介した取り組みは一例でございますが、このように、アドバンフォースグループは、事業を通じた地域課題解決を目指して活動しております。好事例を生み出すことで、スポーツチームの可能性も広がっていくと信じております。



# 令和5年度 茨城県スポーツ指導者研修会 県西地区研修会 令和5年11月12日(日) 於：下妻市千代川公民館

## 《講演Ⅰ》「プレイヤーズセンタードなコーチング」

講師 日本スポーツコーチング協会  
新井 正道



今回の研修は、日本スポーツ協会が提唱するプレイヤーズセンタードとコミュニケーションセッションそして、スポーツコミュニケーションさらに、コミュニケーションスタイルを全員参加型で対話やペアワークを通じて学びを深めてもらう内容にしました。

### プレイヤーズセンタードとは

日本スポーツ協会のホームページに公認スポーツ指導者とは、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレイヤーズセンターの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながら、プレイヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者と記載されています。公認スポーツ指導者であれば理解しているはずのことですが一体どんな考え方なのでしょうか。

プレイヤーズセンターとは、プレイヤーを取り巻くアントラー・ジュ自身も、それぞれのウェルビーイングを目指しながらプレイヤーをサポートしていく考え方で、選手は、もちろんのこと指導者、保護者、コーチドクター、ト

### 必要な現代の

#### コミュニケーションとは

一方通行のコミュニケーションから、共通の目的を達成するためのカンバセーション(対話)の時代に変化しました。さらに、コミュニケーションは、情報を伝える手段から、影響力の時代は移行しています。もともとコミュニケーションの語源は、ラテン語の「コミュニケーション」と言われ、共通、共有、分かち合うという意味です。

#### スポーツコミュニケーション

##### ケーションとは

選手とチームの能力を最大限に発揮させ、ゴールや目標達成の確率を高める影響力のことをいいます。言い換えると、選手とチームの可能性を引き出す、関係性と具体的な関わり方をまとめて、誰でも活用できるようにしたもの。さらに深掘していきたいと思えます。影響力とはある刺激

によって反応させたり、変化させたりすることです。このある刺激が、スポーツ指導では、主に指導者にあたります。選手の言動、成長、成果は指導者によって変わってくるということです。

### スポーツ界でコミュニケーションが注目されている6つの理由

- 1つ目に、パワハラや暴力行為などが顕在化されてきているからです。
  - 2つ目に、スポーツ・インデグリテイ(スポーツにおける様々な脅威)によって欠けることなく、価値ある高潔な状態)の一要素となっているところ。3つ目に、時代差による指導者と選手との意識・言語乖離が起きているということです。
  - 4つ目に、海外のコーチングと日本のコーチングの違いが明確になってきたことです。
  - 5つ目に、連勝する選手やチームの取り組み方や人間関係が変化してきたということです。
  - 6つ目に、活躍する選手の言語能力、語彙が豊富になってきたということです。
- このようなことからスポーツコミュニケーションが注目されるようになりました。4つのコミュニケーションスタイルとは

人間関係のコミュニケーションもそれぞれタイプがあります。一般的には4つのコミュニケーションスタイルに分けられます。直進型、促進型、分析型、援助型、それぞれの特性を理解し、自分のタイプを知り、相手のタイプを知ること、それぞれの価値観の違いに気づくことは、新しい関係性を構築させるチャンスとなるということです。いかがでしたかスポーツを指導するうえで、コミュニケーションがいかに大切か、ご理解いただけただけでしようか。選手と指導者の夢の実現のために、あなたができることは何でしょうか。その行動が、茨城県スポーツ振興と選手の成長を促すことになることを期待しています。



# 令和5年度 茨城県スポーツ指導者研修会 県西地区研修会 令和5年11月12日(日) 於：下妻市千代川公民館

## 《講演Ⅱ》「学童野球から学ぶ子どもと保護者のチームビルディング」

講師 日本スポーツコーチング協会  
河西 浩志



### 研修概要

今回の指導者研修会では、学童野球チーム監督の経験を基に、子どもたちのモチベーションと技術を引き出すためのコミュニケーションと関わりについて事例をご紹介します。具体的には、子どもたち同士の信頼感を高める為に実施したこと、自主性を育む質問、言葉の重要性、チームビルディングに大切なことなどについてお話しをさせていただきます。その一部をご紹介します。監督やコーチ、

### 指導者の存在

スポーツにはアマチュアからプロまで監督やコーチが存在します。野球の世界であれば、学童野球からメジャーリーグまでチームには監督やコーチが存在します。そして、その監督・コーチが選手たちにどんな言葉を投げ掛け、どんな関わりをするかによって、チームの状態や選手のパフォーマンスも変わってきます。例えば試合前の指導者の言葉や行動によって、選手が過度に緊張したり、いつも以上の力を発揮することにもなるのです。

我が学童チームでは新子を高める方法を

チームがスタートした直後は子どもたちが励まし合いながら、野球を楽しみ技術を高め合っていました。しかし三か月が経過した頃、子どもたちの言葉は「励まし」から「非難」に変容していききました。エラーをした時、「ドンマイ」から「なんで！」という言葉に変わっていったのです。これは新チーム発足後、起り得る状況です。仲間同士の互いの期待レベルが上がることにより「励まし」の言葉が「非難」の言葉に変わるので、ここで実施したことは「承認ごっこ」でした。互いに良い点を言葉に出し承認をし合うことで、チームのまとまりが復活しました。常にチーム状態は変化します。指導者はチーム状態を俯瞰し、今、チームにとって何が重要なのか見極め対応することが大切です。

### 言葉の大切さ

普段大人が子どもたちに、指導者が選手にどんな言葉を使っているかによって、選手のパフォーマンスが変わってきます。脳は現実と空想を区別できないという特性をもっています。「エラーするなよ」と言うと、ミスするなよ」と言うのとミス

### 選手に対する無条件の信頼が大切

選手は誰しも本来無限の可能性をもっています。指導者が選手を信じ、どんな言葉掛けをし、どんな関わりをもつのかによって、選手の状態やチームの状態も変わります。選手一人ひとりの花が開く時期は違いますが、指導者が選手に対して無条件の信頼の中から発する言葉は、仮にそれが少々厳しい言葉となっても選手はその言葉を受け止めます。逆に指導者の独り善がりから発する言葉はどんな綺麗な言葉であっても選手には伝わらないものです。主役はあくまでも選手なのです。

### 選手の成長を心から信じ、選手一人ひとりに寄り添う指導者が一人でも多く存在することで、茨城県の競技レベルが向上し、スポーツ振興に繋がっていくことを願っています。



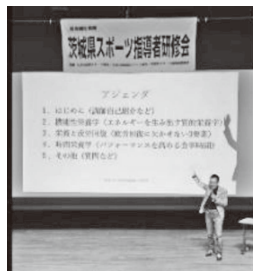
# 令和5年度 茨城県スポーツ指導者研修会 鹿行地区研修会 令和6年1月21日(日) 於：鉾田市大洋公民館

## 《講演Ⅰ》 「スポーツと栄養（栄養と疲労回復）」

講師 国際予防医学協会シニアアドバイザー  
泉 妻 剛



今回の研修では、アスリートのパフォーマンス向上を目指し日常の食事や生活習慣のなかで実践できる栄養学に焦点を当てました。「スポーツと栄養」をテーマに、エネルギー変換プロセスと栄養摂取方法を3つの主要カテゴリーに分けて受講者と考えながら深掘しました。



### エネルギーを生み出す 質的栄養学

第一にパフォーマンスの基盤となるエネルギー源について、ミトコンドリアが生命活動の核心であり、その源であるATP生産に不可欠であることを解説。中鎖脂肪酸はミトコンドリアに取り込まれやすくエネルギー生成を効率化します。その摂取の重要性を例えばジョコビッチ選手が取り入れているMCTオイルやココナッツオイルを挙げて説明しました。血糖値の安定がカギであり、

血糖値の乱高下を防ぐ食事管理の方法を紹介。プロアスリートは簡易的に血糖値を測定できるリブレセンサーを利用している事や砂糖を多く含む清涼飲料水の危険性を紹介しました。

さらに、実力を発揮するために重要である、心を安定しパフォーマンス維持に必要なホルモンのセロトニン生成を促すトリプトファンが豊富な食材（卵・納豆・バナナ・乳製品など）を示しました。

### エネルギーを回復 する栄養とは

第二に、睡眠と栄養の関連性に焦点を当て、良質な睡眠に役立つホルモンのメラトニン生成を支える食事の重要性を説明。このメラトニンはセロトニンが前駆体となり生成される事を理解して頂きました。

疲労回復には、何よりも睡眠が大切であること。次に生化学的には疲労物質FFに對抗し細胞修復を促すFRの理解が必要であり、鶏胸肉や魚介類（カツオ・マグロ・鮭など）に含まれるイミダゾールペプチドの効果を紹介しています。例えば鳥胸肉なら1週間で

100gを摂取する事で効果を得られます。また、疲労回復に即効性がある食材として、クエン酸やビタミンBを含む食品（レモン・梅干・豚肉など）の摂取が有効であることを示しました。



### パフォーマンスを高める食事時間

第三に、時間栄養学を通じて、食事のタイミングがパフォーマンスに与える影響を学び、朝食にタンパク質を多めに摂り入れることで筋肉の成長を促し、夕食でグリシンを含む魚介類（ホタテ・イカなど）を摂ることで睡眠の質が高まる重要性を強調しました。また、朝食から夕食までの時間を12時間以内に保つことが栄養を最大限摂取するために効果的だと説明しています。

ここまでの解説で紹介したトリプトファンやイミダゾールペプチド並びにクエン酸を含む食材はATP産生・ホルモン生成・疲労回復・睡眠の質向上に

共通する食材なので、積極的な摂取を提案しました。特に納豆や卵などは日頃から食べやすい食材なので特にオススメです。

受講者は具体的な食事法や睡眠のとり方、疲労回復に関する深い理解を得て、日常生活での応用に意欲的でした。特に具体的な食材例や、食事のタイミングに関する新しい知見に対する関心が高まった様子です。

この研修ではスポーツ指導者がアスリートをサポートする上での栄養学の理解を深め、具体的な実践方法を提供しました。アスリートのパフォーマンス向上に寄与する食事や生活習慣は、科学的根拠に基づきながらも、日々の生活に簡単に取り入れられるシンプルさが鍵です。

最後に何よりもこの研修を受講された茨城県公認のスポーツ指導者自身が、日々の健康的な生活を体現しアスリートへの指導力や影響力を発揮して欲しいと願っています。ところで、このニュースレターを読んで頂いたあなたは何かから始めますか？

《注釈》 ミトコンドリア：細胞内に数百～数千存在する小器官でATP産生や細胞死を促す役割を果たしている  
ATP（アデノシン3リン酸）：高いエネルギーを保持している化合物  
FF（ファティーグファクター）：疲労のタンパク因子  
FR（ファティーグリカバリーファクター）：疲労解消物質

# 令和五年度 本協議会活動報告



鈴木 義夫

茨城県スポーツ指導者協議会  
事務局長

令和5年度茨城県スポーツ指導者協議会の事業活動を、ご報告申し上げます。

今年度の本協議会総会は、令和5年4月29日(火)に笠間市・友部公民館2階大会議室で開催して、令和4年度本協議会事業報告及び収支決算報告並びに令和5年度事業計画案及び収支予算書案が、原案通り全会一致で承認を得られました。

続いて、令和5年5月6年度本協議会役員選出は、新会長には鈴木孝子様を選出し、副会長3名(鈴木義夫様、青柳薫光様、梅村恒雄様)は、原案通り全会一致で、承認が得られました。

令和5年度本協議会の主なる事業で、研修会(全県研修会・地区研修会)を四会場で開催しました。

全県研修会は、研修委員会が主管で、令和5年8月6日(日)に水戸市・水戸市民会館で開催して、参加申込者106名に対し、受講者94名(会員59名・未会員35名)が参加しました。

中央地区研修会を中央支部が主管

で、令和5年9月3日(日)に那珂市・総合センターらぼーるで開催して、参加申込者85名に対し、受講者79名(会員59名・未会員20名)が参加しました。

県西部地区研修会を県西支部が主管で、令和5年11月12日(日)に下妻市・千代川公民館で開催して、参加申込者106名に対し、受講者90名(会員62名・未会員28名)が参加しました。

鹿行地区研修会を鹿行支部が主管で、令和6年1月21日(日)に鉾田市・大洋公民館で開催して、参加申込者81名に対し、受講者79名(会員54名・未会員25名)が参加しました。

本協議会は、会報を毎年2回『3月中旬及び9月中旬』に発行を広報委員会が主管で、原稿依頼、研修会取材、文書校正など編集を行い、印刷製本後に本協議会事務局から各支部事務局を通じて、会員皆様へ配布しており、その他に各支部が独自の研修会、講習会などの開催と支部便りを発行しております。茨城県に登録した公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者は、令和5年10月1日現在の登録人数は、5603名であります。(スポーツリーダー含む)

令和6年2月1日現在の本協議会の公認スポーツ指導者は、支部別の有資格者及び会員数は、次の通りであります。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者茨城県登録者数  
(令和6年3月15日現在)

	支部名	有資格者数(名)	会員数(名)
1	県北支部	490	191
2	水戸支部	579	195
3	中央支部	922	384
4	鹿行支部	392	157
5	県南支部	2,052	691
6	県西支部	811	298
7	県外	176	43
	茨城県全体	5,422	1,959

(会員比率36.13%)

以上の通り有資格者合計5272名、会員数合計1957名で、会員比率37.12%になりました。

公認スポーツ指導者は、資格取得後及び資格更新後は、3年6カ月以内に1回以上の研修会に受講した実績が必要であります。

本協議会主催する研修会(全県研修会・地区研修会)を開催する案内文書が有効期限2年以内の公認スポーツ指導者宛て6月初旬に公益財団法人茨城県スポーツ協会からハガキで送付されます。

本協議会は、毎年4月及び10月に日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得及び資格更新された方々に対して、本協議会に会員入会の案内文書を送りますのでご理解ご協力をお願い致します。

今後とも茨城県スポーツ指導者協議会の発展に際し、会員皆様の格別なるご支援とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

# 専門委員会事業報告

## 「研修委員会」



渡辺 吉光

研修委員長

昨年5月8日からコロナウイルス感染症が、感染症法上の位置づけが「2類」から「5類」に移行し、制限が緩和されました。

指導者の皆様におかれましては、ご健勝のうえ、研鑽及び、競技のご指導にご活躍の事とお慶び申し上げます。

既にご存じの通り、中学校の部活動が令和5年5月7年度にかけて、段階的に地域へ移行されようとしています。

そして初年度一年が経過しましたが、指導者の皆さんは茨城県教育庁の外部指導員に応募、バンク登録されましたでしょうか?

茨城県教育庁では随時登録者を募集しています。登録・確認は教育庁HPをご覧ください。

令和五年度、研修会開催概要  
①8月6日 全県研修会  
主管 協議会研修委員会  
於 茨城県水戸市民会館  
講演 I 「マインドセット・Z世代」  
代・DX

茂木ゆういち先生  
講演Ⅱ「部活動を輝かせる公認  
スポーツ指導者役割」  
加藤敏弘先生

② 9月3日 中央地区研修会

主管 中央支部

於 那珂市総合センター  
らぼーる

③ 11月12日 県西地区研修会

主管 県西支部

於 下妻市千代川公民館

④ 令和6年1月21日 鹿行地区  
研修会

主管 鹿行支部

於 鉾田市大洋公民館

以上、4会場にて研修会が開催  
されました。

令和6年度、研修会開催予定

① 全県研修会 8月4日

② 水戸地区研修会 9月1日

③ 県南地区研修会 11月10日

④ 阿見町本郷ふれあいセンター

⑤ 県北地区研修会

(令和7年2月14日)

全県研修会は毎年行われ、各地区  
研修会は、各支部の主管により隔年  
で実施されています。

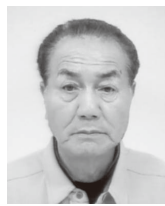
今更のようで恐縮ですが、このス  
ポーツ指導者研修会は、公益財団法人  
日本スポーツ協会と公益財団法人  
茨城県スポーツ協会より委託されて  
実施されている事業です。

研修委員会は、これからもスポー  
ツ指導者の皆様にご満足いただけま  
すよう、ご意見を戴きながら、不具

合点を解消しつつ、役員全員一丸と  
なり研修の資質向上を図り、充実し  
た研修会となりますよう、努力して  
まいりたいと思えます。

今年度ご協力をいただいた運営委  
員の皆さんには、感謝申し上げます  
と共に、今後とも本協議会、各支部  
の発展と活性化、そして、充実した  
研修会を推進できるように是非とも継  
続してご支援・ご協力をいただけま  
すよう、この席をお借りしてお願い  
いたします。

〔総務委員会〕



総務委員長

和田 弘行

令和5年度総務委員会の事業活動  
報告をさせていただきます。

今年度の総務委員会は、令和5年  
7月13日(水)水戸市・茨城県水戸市生  
涯学習センター分館に於て第1回総  
務委員会を開催致しました。令和四  
年度の振り返りや、総務委員の事業目  
的を考慮し、令和5年度の議案事項  
を左記のように決め事業を推進しま  
した。

- (一) 規約規程の見直しの実施
- (二) 総務委員会細則規程(案)の作  
成及び総務委員会名称変更
- (三) 委員会開催方法(ズーム会議で  
の開催を検討)
- (四) 総務委員会事業計画作成及び予

算について

また、第2回目の総務委員会を令  
和6年1月25日(木)に第1回目の議案  
事項を踏まえ、開催し、規約の改  
正及び総務委員会細則規程等を検討  
し、その他に総務委員会の実施する  
べき事項内容にも検討を重ねた結  
果、左記のように決まりました。ま  
た委員会メンバーとも良い話し合い  
が出来た事も良かったと思います。

(一) 規約規程の改正については、現  
規約の一部改定を常任委員会に審議  
準備を行う事としました。

(二) 総務委員会細則規程(案)の作  
成については、細則規程が現在ない  
為、会議で原案を作成し進めてきた  
結果、細則規程(案)を常任委員会  
に審議提案。また、総務委員会の名  
称変更については、企画総務委員会  
と改名し、審議提案準備を行なう事  
としました。

(三) 委員会開催方法については、ズ  
ーム会議を踏まえての開催も考慮す  
る事となりました。

(四) 総務委員会事業計画作成は、よ  
り具体的に計画を行う事とし、事業  
予算作成は、原案を委員会で作成す  
る事となりました。

今後とも次年度に向かって本委員  
会の事業活動と本協議会規約細則に  
関する条文内容等の見直しをする事  
に、ご理解とご協力を宜しくお願い  
致します。

支部だより

県南支部

支部長

渡辺 吉光

なかなか終息を見ない新型コロナウイルス  
ウィルス感染症ですが、昨年の5月  
8日に感染症法上の位置付けが「2  
類」から「5類」にランクダウンさ  
れ、活動制限が緩和されました。

指導者の皆様におかれましては、  
ご健勝のうえ研鑽及びご指導にご活  
躍の事とお慶び申し上げます。

令和5年度は、県南地区研修会が  
ありませんでした。他にこれといっ  
た活動も無く、過ごしてしまいまし  
た。

これにつきましては、私の不徳の  
致すところとして深くお詫び申し上  
げます。

個人的には今年度二つの講演会に  
行きました。紹介します。

① 令和5年11月10日に茨城県庁9  
階講堂で行われましたサッカーの神  
様とも言われる「鹿島アントラーズ  
アドバイザーのジーコ氏」の講演会  
テーマ『子どもを大きく伸ばす

スポーツ指導者の心得』  
内容として、サッカースクールに  
おいて、子ども達それぞれに適した  
指導をどのようにしていくかと言  
うものでした。

一部抜粋

「適切な練習教材を使用して、各

年齢層に適した教授法を生徒に提供し、ダイナミックで楽しく刺激的なクラスを通じて成功の条件を提供し、各生徒を個別に理解し、個人のスキルを高めます。」

「サッカーだけでなく、社会的および対人関係の発達で有り、学生がフィールドと人生の両方で、チームの重要な部分として成長するのを助けるスキルです。」

どの競技種目にも共通して言えることと共感しました。

②令和6年2月10日 石岡市中央公民館にて生涯学習の集い、記念講演として「俳優でタレントの奥山佳恵さん」の講演を聞きました。

テーマ『生きてるだけで100点満点』

内容として、ダウン症の次男を迎えての家族の日常生活を伝えることでダウン症への理解を深めてほしいと言うものでした。私見ですが、感動した一言を紹介致します。

「勿論(他の方法とか)努力はしますが、出来なくてもいいよ。あなたはあなたのままでいいよ。」

今までの指導方法を振り返り、健常者・障害者を問わず子ども達一人一人と向き合い理解し、その子にあった指導を教授していただろうかと反省しきりです。

色々な講演があちこちで行われると思いますが、情報共有して沢山の講演が聞けて研鑽できたらいいと思

います。

令和6年度事業予定  
① 県南地区研修会 11月10日(日)  
於： 阿見町本郷ふれあいセンター

② 令和7年1月頃 救命講習会  
(胸骨圧迫・AED)

お願い  
県南支部役員を募集しています。ご協力をお願いします。

運営委員になられる皆さんには、県南支部の活性化、充実した研修会を推進できるように是非とも継続してご支援・ご協力をいただけますよう、この席をお借りしてお願いいたします。

県西支部

副支部長  
大竹幹夫

新型コロナウイルスも五類感染症に移行となりましたが、インフルエンザ感染者数が増加しております。皆様におかれましてはご健勝の上、指導者としてご活躍のこととお慶び申し上げます。

県西支部令和5年度活動状況

○ 4月9日 第1回役員会

○ 5月21日 総会開催

○ 9月30日 第2回役員会

○ 10月1日 ①広報紙87号配布  
② 県西支部便り

③ 研修会案内の発送

○ 10月29日 県西地区研修会の打ち合せ

○ 11月12日 県西地区研修会

下妻市・千代川公民館に於て開催

○ 1月28日 第3回役員会  
※令和6年度に救急救命講習会又は講演研修会を予定しております。

今年度始めて支部便り1号を発行  
〈内容〉

・ 県西支部総会の報告  
・ 県西支部市町別有資格者及び会員数(有資格者638名の内会員267名)

・ 令和5年度県西地区研修会開催のお知らせ  
・ 公認スポーツ指導者登録手続きについて等  
役員会についての協議内容について

・ 支部役員の選出  
・ 研修会の運営委員人選及び任務について

・ 支部規約の一部改正(案)について  
・ 講習会・講演会等について  
県西地区研修会(資格更新)  
場所：下妻市・千代川公民館  
講演Ⅰ『プレイヤーズセンタードなコーチング』

講師：新井正道氏、  
講演Ⅱ『学童野球から学ぶ子どもと保護者のチームビルディング』

講師：河西浩志氏  
研究協議『スポーツの指導方法』  
公認スポーツ指導者として、常に自ら学びプレイヤーの成長を支援することを通して、スポーツ社会に貢

献できる事を目指さなければと改めて思い知らされた研修でありました。

令和6年度の支部事業計画  
○ 第1回役員会 4月7日(日)  
古河市・中央公民館

○ 支部総会を5月12日(日)  
下妻市・千代川公民館

○ 支部便り 2号発行  
左記以外、研修会又は講習会等の開催

これからも、本協議会の目標達成のため、指導者の皆様と有意義な活動を歩みたいと思います。

中央支部

支部長  
五十嵐雅晴

中央支部令和5年度の活動報告をさせて頂きます。活動内容は左記のようになります。

(一) 中央支部総会

開催日 令和5年4月14日(日)  
場 所 ひたちなか市・勝田一中コミュニティセンター

総会に於いて中央支部役員変更選出案が提案され、支部長に五十嵐雅晴、副支部長に多田保徳が就任致しました。また前任の支部長照沼一美様には長期間にわたり支部長を務めて頂き感謝と御礼を申し上げます。今後は顧問としてご指導を頂ければと思います。新体制役員一同協力し合

い支部活動をより一層推進して参りますので、宜しくお願致します。

(二) 中央支部講習会開催  
開催日 令和5年6月4日(日)



場所 水戸市内原市民センター  
講習会を救急救命講習会として開催しました。参加者は少人数になりましたが、水戸地区救急普及協会より講師を招き、大変和やかにまた真剣に講習会に取り組みをしました。来年度より更に救急救命講習会の増設を考慮してまいりますので会員の皆さまの参加をお待ちしています。

(三)中央地区研修会(更新研修)  
開催日 令和5年9月3日(日)  
場所 那珂市・総合センターらぽーる

講師Ⅰ 山根将大氏(茨城アスト)  
ロプラネッツ代表取締役  
講演内容 地域スポーツチームが持つ地域課題

講師Ⅱ 峰 淳一氏

茨城県スポーツ少年団  
講演内容 アクティブチャイルドプログラムを紹介と県内の取り組みレポート

参加者 88名大勢いの参加者があり、会員入会も多数でした。

(四)日本スポーツ協会表彰・茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦表彰者 協会 坂本禮子様

協議会 阿部総恵様  
(五)支部だより(ちゅうおう)発行 令和5年度 10月号・3月号

(六)支部役員開催 年間4回開催

- ① 4月1日(土) 支部総会の件他
- ② 7月29日(土) 研修会の件他
- ③ 10月1日(日) 後期活動他
- ④ 2月4日(日) 事業報告計画他

以上、中央支部活動の報告とさせていただきますが、令和6年度も中央支部活動のご協力をたまりませんよう宜しくお願い申し上げます。

**水戸支部**

事務局長 加藤木 すえ子

水戸支部令和5年度事業報告と令和6年度活動予定をお知らせします。  
水戸支部活動報告

水戸支部総会を令和5年4月15日 上中妻市民センターにて開催。  
水戸支部救急救命講習会を令和5年7月23日 上中妻市民センターで開催。

全県研修会8月6日に研修委員2名受付などの役員として参加。  
水戸支部便り第1号を作成し、令和5年9月25日水戸支部会員170名に発送。  
水戸支部定例役員会を4月15日、6月24日、11月18日に上中妻市民センターで実施。その他各役員会を随時実施。

**令和6年度活動予定**

水戸支部総会を令和6年4月20日 上中妻市民センターで開催予定。  
水戸支部救急救命講習会を令和6年7月7日 上中妻市民センターで開催予定。

水戸地区研修会を令和6年9月1日 水戸市・JAグループ茨城教育センターで隔年により開催予定。  
水戸支部便りを年2回、県会報に合せて発行予定。

水戸支部定例役員会を令和6年4月20日、7月20日、11月16日に上中妻市民センターで実施予定。その他各委員会を随時実施予定。以上活動報告をいたします。

**令和5年度救急救命研修会**

水戸地区救急普及協会のご指導のもと参加者20名で一次救命処置、声掛け、119番通報、胸部圧迫と人工呼吸、AED使用などを講義と実技で学習しました。また温暖化による熱中症リスクの注意や対処のしかたをスポーツ指導の現場で安全対策として必要な知識を学びました。何度も繰り返し講習を受けるべきと思います。  
会員の皆様の昨年以上のご活躍をお祈りいたします。

**県北支部**

支部長 梅村 恒雄

**県北支部活動報告**

令和5年度 4月2日 第23回さくらロードレース助勢



5月28日 支部講習会「背骨コンディショニング」と支部総会



9月15日 支部会報62号発行  
10月16日 女性センター祭助勢  
3月15日 支部会報63号発行  
以上の事業を実施しました。  
支部総会は5月26日に予定しています。

**令和6年度の活動は**

- ① 定例役員会 毎月第1月曜日に開催
- ② 各委員会活動 総務・研修・広報委員会の運営
- ③ 地区研修会の開催
- ④ 支部会報 「あみごと」64・65号の発行
- ⑤ 近隣市町村への協力 ひたちさくらロードレース給水助勢、女性センターまつり助勢等を予定しております。

さて、現在中学校の部活動の地域移行が進められていますが、令和8年度から全面移行となります。特に、指導者の確保には頭を痛めています。今こそスポーツ指導者協議会

のみなさんの力が発揮できる時ではないでしょうか。皆さまの行動に期待しています。

新たに、坂本隆夫さんが支部役員として加わりました。今までの経験を活かして是非活かし支部活動が活性化されることを期待しています。

令和5年度の反省と令和6年度の事業活動について議論し、役員一同精一杯頑張りますので、会員の皆様もぜひ各種研修会にご参加して頂きますようお願い致します。

鹿行支部

副支部長 君和田 治也

令和5年度茨城県スポーツ指導者研修会は令和6年1月26日、鉾田市大洋公民館にて受講者79名を受け入れ開催することができました。研修会準備および当日の受け入れをして頂いた関係者には感謝いたします。

指導者更新研修会の

県内実施について

公認スポーツ指導者資格の4年に1回の更新や、スポーツ指導の様々な知識を身に付ける講習会が茨城県内4地域で行われる事は茨城県の受講者にとっては良い事だと思います。その期待に応えるべく茨城県スポーツ指導者協議会は活動を進めています。

茨城県の指導者協議会活動は、年4回、県内4地域で行われてい

ます。他県の方も研修会に参加しに来ており、期限ギリギリの方には助かっているようです。

鹿行支部活動について

鹿行支部としては支部活動として令和6年2月4日に行方市北浦公民館にて救急法講習会を開催しました。参加者を集めることは正直苦勞しましたが、参加者20名で熱心にAED使用体験を何度も行いました。実際に事故に遭遇した時、何もできなかった体験話等聞き、実際に事故現場にいた時は、「自信を持って行動が出来るようになりたい」と全員が講習を受けていました。

2年後の2026年1月頃には、鹿嶋市で鹿行地区研修会を開催する予定です。研修を受講するのなら、茨城県内の近場で講習を受ける計画を予定して下さい。

支部活動のこれからについて

今後、鹿行支部活動を継続していく為には、スポーツ指導者協議会の世代交代をしていかなければならないと思っています。若い人のスポーツ指導資格取得が出来るよう各スポーツ種目協会の後押しを、よろしくお願ひしたいと思います。

令和5年よりスポーツ少年団の指導者も資格更新制度に関わってきます。また、部活動改革が進み、各地域行政主体で検討委員会が設置されています。部活動の指導に

協議会事務局便り

令和6年度茨城県スポーツ指導者研修会日程

(1)全県研修会

日時 令和6年8月4日(日)
会場 水戸市・ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
定員 300名

(3)県南地区研修会

日時 令和6年11月10日(日)
会場 阿見町・本郷ふれあいセンター
定員 300名

(2)水戸地区研修会

日時 令和6年9月1日(日)
会場 水戸市・JAグループ茨城教育センター
定員 80名

(4)県北地区研修会

日時 令和7年2月15日(土)
会場 日立市・池の川さくらアリーナ(サブアリーナ)
定員 100名

あたりスポーツ指導者への移行が必須となってきました。これからのスポーツ指導についてスポーツは面白い、楽しい、と思いつながら、やらなければならぬと思えます。正しい知識を持ち、仲間を作り、コミュニケーションを上手く作りながら、笑顔で、

楽しくスポーツ活動を進めたいと思います。その期待に応えるべく、スポーツ指導者協議会活動を進めたいと思います。

編集後記

第八十八号会報発行に当たり皆様にご愛読いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報八十九号発行は令和六年九月十五日(予定)

広報委員会

- 広報委員長 高野 照代(鹿行支部)
広報副委員長 君和田治也(鹿行支部)
広報担当副会長 梅村 恒雄(県北支部)
広報委員 高松 淑子(県北支部)
岡野 秀一(水戸支部)
舛井 幸子(水戸支部)
大曾根瑞穂(中央支部)
黒沢 勝秀(中央支部)
小林 誠(県南支部)
藤田 道子(県南支部)
大竹 幹夫(県西支部)